

今回も、絶対に感動が待っている。  
出会うのが怖いぐらいの感動が、やってくる。

スペイン舞踊をして「情熱的」と表現するのは甚だ陳腐かも知れないが、  
それ以上見事に表現した言葉は、やっぱり見つからない。  
重いドレスの裾を翻し、滴る汗の隙間から覗くあの熱い目が語るものは、  
やっぱり、情熱以外の何でもない。その熱に捕らわれたが最後、穏やかだった日常は、終わりを告げる。  
心は、抑えきれないざわめきに支配されてしまう。  
スペイン国立バレエ団の来日が決まると、魂が疼き出す。  
心待ちにしていたあの人にやっと会える、そんな動揺にも似た熱い期待に胸を膨らませる。  
今回も、絶対に感動が待っている。出会うのが怖いぐらいの感動が、やって来る。  
伝統を守りながらも、現代の洗練をさらりと着こなす作品たち。  
スペイン以外の何物でもない動きと音楽と感性が、華々しく繰り広げられる。  
スペイン舞踊と一口に言っても、フラメンコをはじめエスクエラ・ボレーラ、  
クラシコ・エスパニョール(ダンサ・エスティリサド)、民族舞踊と四つのジャンルがあり、  
さらに現代ではコンテンポラリーを取り入れる場合もあり、中々に複雑だ。  
しかしそれぞれの色を失うことなく全てを網羅し、一つの舞台に見事にまとめあげ、観客を満足させてくれる。

東 敬子(フラメンコ・ジャーナリスト)

Aプログラム

2024.11.20(水) 19:00開演  
11.21(木) 15:00開演  
11.21(木) 18:30開演

Bプログラム

11.23(土・祝) 13:00開演  
11.23(土・祝) 16:30開演  
11.24(日) 13:00開演

S ¥18,000 / A ¥15,000 / B ¥12,000 / C ¥10,000 / D ¥8,000(全席指定・税込)

チケット取扱

イープラス <https://eplus.jp/bne2024/> Family Mart店舗  
チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/bne2024/> セブン-イレブン店内(Pコード:527-723)  
ローソンチケット <https://l-tike.com/bne2024/> ローソン、ミニストップ店内Loppi(Lコード:34145)  
チケットサンライズ 0570-077-020(平日 10:00~18:00) <https://sunrisetokyo.com/ticket/>  
東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650(10:00~18:00 休館日を除く) <http://www.t-bunka.jp/>

お問合せ: サンライズプロモーション東京 0570-00-3337(平日12:00~15:00) ※チケットの取扱はございません

※未就学児童は入場不可※演目予定は2024年7月20日現在。演目変更に伴うチケット代の払い戻し、公演日や券種の変更はお受けできません。

全国公演

11.17(日) 14:00 オーバード・ホール 大ホール(富山)  
11.27(水) 18:30 Niterra日本特殊陶業市民会館フォレストホール(名古屋)  
11.29(金) 14:00 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール(兵庫)

公演情報は

スペイン国立バレエ団 検索  
<http://spain-ballet.com/>  
f i



【18歳以下無料招待・同伴者半額】東京公演は、『文化庁子供文化芸術活動支援事業』です。

18歳以下の方を対象に、合計355名様を無料でご招待します。

※受付は先着順となりますので、定員に達し次第受付終了となります。※本応募は文化庁の採択を以て告知を開始しております。お申込以前にご購入いただいた場合も払い戻しはできません。ご了承ください。

受付期間:

8/10(土) 10:00~  
詳細・申込はこちら➡



世界最高峰のフラメンコ・バレエ、6年ぶり待望の来日!  
総勢80名超のカンパニーによる圧巻の舞台は必見!

# スペイン国立バレエ団

## 2024年日本公演

芸術監督:ルベン・オルモ

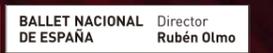


# BALLET NACIONAL DE ESPAÑA

## 2024.11.20(水)~24(日) 東京文化会館 大ホール

主催:朝日新聞社、サンライズプロモーション東京、MIYAZAWA&Co.

後援:スペイン大使館、インスティトゥト・セルバンテス東京、日本フラメンコ協会



**Aプログラム** 「世代を超えて」～<sup>ヘネラシオン</sup>generación～

まさに壮観!  
華やかでダイナミックな  
群舞の魅力が堪能できる  
王道プログラム

さまざまな世代の振付作品で、スペイン舞踊の多彩な魅力を楽しむプログラム。幕開きを飾る『リトモス』の初演は40年前。優雅で華麗なスペイン舞踊を堪能させてくれる。華やかでダイナミック、まさに壮観!といったスペイン国立バレエ団ならではの群舞の魅力は、ホセ・グラネーロ版の『ボレロ』でも味わえる。スペインらしい力強さ、生命力を感じさせてくれるこの作品は87年初演。この2つの作品の間には、一昨年初演のコンテンポラリーの要素もある女性ダンサーによる小品と、男性スペイン舞踊の名作『サパテアード』が踊られる。そして『グリート』(97年)では、フラメンコのエッセンスも満喫できることだろう。

『リトモス』

振付:アルベルト・ロルカ

『ハカランダ』

振付:ルベン・オルモ(11/20、21夜)

『パストレラ』

振付:アントニオ・ルス(11/21昼)

『サパテアード』

振付:アントニオ・ルイス・ソレール

『ボレロ』

振付:ホセ・グラネーロ

『グリート』

振付:アントニオ・カナーレス



『リトモス』

『ハカランダ』

『リトモス』

『グリート』

『ボレロ』

『グリート』

**Bプログラム** 「祈り」～<sup>インボカシオン</sup>invocación～

フラメンコから  
スペイン古典舞踊まで、  
世界最高峰の真髄が  
目白押しの  
贅沢ラインナップ!

スペインといえばフラメンコ、でもスペイン舞踊の魅力はなにもフラメンコだけじゃない。ロマンチックバレエとも関係の深いスペインの古典舞踊、エスクエラ・ボレーラへのオマージュ『インボカシオン・ボレーラ』に始まり、ルベン・オルモ芸術監督振付の繊細なソロ『ハウレーニャ』、前監督アントニオ・ナハーロの振付による帽子やマント、カスタネットも使った“ザ・スペイン舞踊”的な『イベリア賛歌』、そして現代フラメンコ舞踊の礎を築いたマリオ・マジャへのトリビュートである華やかで楽しい『フラメンコ組曲』。いずれも古典に、先人に学び、インスパイアされて新しい地平を開いていく作品。スペイン舞踊の多彩さにあなたも魅了されることだろう。

『インボカシオン・ボレーラ』

振付:ルベン・オルモ

『ハウレーニャ』

振付:ルベン・オルモ

『イベリア賛歌』

振付:アントニオ・ナハーロ

『フラメンコ組曲』  
～マリオ・マジャに捧ぐ～

振付:マリオ・マジャミラグロス・メンヒバル  
アスンシオン・ルエダ“ラ・トナ”  
マノロ・マリン  
イサベル・バジヨン  
ラファエラ・カラスコ



『インボカシオン・ボレーラ』

『イベリア賛歌』

『フラメンコ組曲』

『フラメンコ組曲』